

## 災害・防災関係資料

- ・ 令和6年度予算案の概要（抜粋）……………2 ページ
- ・ 障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査結果報告書（抜粋）…5 ページ
- ・ 記者発表資料（重度障害児者日常生活用具給付等事業の品目追加）…12 ページ

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 危機対策事業		予算額	23,367
局/部/課	総務局/危機管理部/危機管理課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書 P. 115	- 一般財源 23,367
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>危機管理体制の拠点施設となる「さいたま市危機管理センター」を運用し、自然災害や事件・事故・感染症などの市民生活を脅かす危機事案に対し、危機発生時の初動対応を確保するための体制を充実させるとともに、職員の危機管理意識の向上・強化を図ります。さらに、市民が安全に安心して暮らせる地域社会を実現するため、セーフコミュニティ事業を推進していきます。</p>		前年度予算額 22,855	
		増減 512	
<主な事業>			
1	さいたま市危機管理センターの管理運営 6,248	4	九都県市危機管理・防災対策委員会 118
<p>危機管理体制を維持するため、拠点施設となるさいたま市危機管理センター内のシステム機器類の保守及びシステムの管理運営を行います。</p>		<p>広域的な課題に対応するため、九都県市危機管理・防災対策委員会等との連携を継続的に図ります。</p>	
2	危機管理体制の確保 9,361	5	国民保護協議会その他 715
<p>市内でのテロや感染症等の危機事案に対する職員の対処能力を向上させ、24時間初動体制を取れるよう、待機宿舎、宿日直及び連絡体制の確保・維持を図ります。</p> <p>[総振：10-1-2-03]</p>		<p>市長の諮問に応じて、市の区域に係る国民の保護のための措置に関する重要事項を審議等する、さいたま市国民保護協議会を必要に応じて開催します。</p>	
3	セーフコミュニティの推進 6,925		
<p>市民との協働により、データを活用した効果的な事故やケガの予防活動を行うとともに、国際認証の再取得を見据え、新たに審査員による指導を受け、更なる活動の推進に繋がります。</p> <p>[総振：05-1-1-03]</p>			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 防災対策事業		予算額	192,198
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書 P. 115	24款 諸収入 54
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;</p> <p>さいたま市被害想定調査の結果による避難者数を基に、計画的かつ近年の大規模災害を踏まえた備蓄に努めるとともに、避難所の防災倉庫のほか、拠点備蓄倉庫等の保守管理を行います。また、災害時において住民が迅速かつ適切な避難行動をとることができるように、防災行政無線の運用・管理や防災アプリ等のICTを活用した防災啓発及び情報伝達などを行います。</p>		- 一般財源 192,144	
<p>&lt;特記事項&gt;</p> <p>同報系防災行政無線の基幹設備更新が完了しました。</p>		前年度予算額 458,871	
		増減 △ 266,673	
<主な事業>			
1	災害用物資備蓄事業 64,815	4	その他 14,612
<p>避難者等の食糧、要配慮者のためのミルクやおむつ、衛生用品等の備蓄や資機材の保守・修繕を行います。また、避難所の防災倉庫や避難場所の標示板等の整備・維持管理を行います。</p> <p>[総振：10-1-2-01]</p>		<p>防災体制の整備を行います。また、罹災証明書の迅速な発行と被災者台帳の整備を目的とした被災者生活再建支援システムの運用・保守を行います。</p> <p>[総振：10-1-2-01]</p>	
2	防災情報収集・伝達体制整備事業 112,367		
<p>災害時における避難情報・防災情報等を配信する防災行政無線や防災アプリ、総合防災情報システム等の運用・維持を行い、災害への迅速な対応を図ります。</p> <p>[総振：10-1-2-01]</p>			
3	帰宅困難者対策事業 404		
<p>帰宅困難者による混乱を抑制するため、市内事業者へ一斉帰宅の抑制を啓発します。また、一斉帰宅抑制対策に積極的な市内事業者を登録し、PRする「一斉帰宅抑制対策推進事業者登録制度」を促進します。</p> <p>[総振：10-1-2-02]</p>			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 防災訓練事業		予算額	46,718
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書 P. 115	- 一般財源 46,718
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;            地域防災計画に基づき、防災体制の充実強化及び防災関係機関相互の連携強化を図るとともに、災害対応力の向上及び市民等の防災意識の高揚を図ることを目的に関連する訓練を実施します。</p>		前年度予算額	49,002
		増減	△ 2,284
<p>&lt;主な事業&gt;</p> <p>1 さいたま市総合防災訓練 34,379            大規模地震発生時の地域住民、防災関係機関及び九都県市等との連携並びに水害に関する訓練の充実により、災害対応力の強化を図ります。また、同時に防災フェアを開催することで、市民の防災意識の高揚を図ります。            [総振：10-1-2-05]</p> <p>2 各区避難所運営訓練 8,973            地域住民等で構成される、避難所運営委員会を主体とした防災訓練に、水害に関する内容を取り入れるなど年1回以上実施し、自助・共助の充実強化を図るとともに、避難所運営委員会の活性化を図ります。            [総振：10-1-2-05]</p> <p>3 さいたま市風水害対策図上訓練 3,366            市職員を対象として、大規模災害等の発生を想定したロールプレイング方式の図上訓練を実施し、職員の災害イメージの形成及び災害対応力の向上を図ります。            [総振：10-1-2-05]</p>			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 自主防災組織育成事業		予算額	124,286
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書 P. 115	19款 県支出金 250
<p>&lt;事業の目的・内容&gt;            「自分たちのまちは自分たちで守る」のローガンのもと、災害時に地域住民が団結して地域を守る自主防災組織の結成促進及び育成強化を図ります。また、地域防災力向上の担い手である防災アドバイザーを自主防災組織等に派遣し、地区防災計画の策定支援やDIG、HUG等の図上訓練を実施することで、地域防災力の向上を図ります。</p>		- 一般財源	124,036
		前年度予算額	128,168
		増減	△ 3,882
<p>&lt;主な事業&gt;</p> <p>1 自主防災組織育成 121,484            自主防災組織の結成促進・育成強化推進のため、自主防災組織連絡協議会に補助金を交付するとともに、自主防災組織の活動を活性化させるため、自主防災組織運営補助金、防災訓練補助金、育成補助金を交付します。            [総振：10-1-2-04]</p> <p>2 防災アドバイザー等の育成活用 2,802            地域防災力向上のため、防災士の新規資格取得費用を助成します。また、地域防災力向上の牽引役である防災アドバイザーを講師として自主防災組織や学校へ派遣します。            [総振：10-1-2-04]</p>			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 災害応急対策事業		予算額	3
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	[財源内訳]	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	- 一般財源	3
<p>&lt;事業の目的・内容&gt; 災害発生時、被害が発生した場合に応急対策を行い、被害を最小限に食い止めることを目的とします。</p>		前年度予算額	3
		増減	0
<p>&lt;主な事業&gt;</p> <p>1 災害応急対策事業 3 災害発生時において、災害対策用臨時電話の設置や応急対応業務を行います。</p>			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 災害救助基金積立金		予算額	16,686																																
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	[財源内訳]																																	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	20款 財産収入	145																																
<p>&lt;事業の目的・内容&gt; 本市が大規模災害で被災した際に、災害救助法の規定による救助に要する費用の支弁等の財源に充てるため、災害救助法第22条の規定により、救助実施市として必要となる災害救助基金を積み立てます。</p>		- 一般財源	16,541																																
		前年度予算額	13,160																																
		増減	3,526																																
<p>&lt;主な事業&gt;</p> <p>1 災害救助基金への積立て 16,686 [参考] 県の普通税収入の増加等により、基金の積み増しを行い、併せて基金を金融機関に預入れしていること等により生じた利子等について、積立てを行います。</p> <p>災害救助基金残高等の推移 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">積立額</th> <th rowspan="2">取崩額</th> <th rowspan="2">年度末残高</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>運用利子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>673,664,000</td> <td>9,606</td> <td>0</td> <td>673,673,606</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0</td> <td>7,548</td> <td>0</td> <td>673,681,154</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>21,955,107</td> <td>6,836</td> <td>0</td> <td>695,643,097</td> </tr> <tr> <td>R5(見込)</td> <td>12,806,000</td> <td>354,000</td> <td>0</td> <td>708,803,097</td> </tr> <tr> <td>R6(見込)</td> <td>16,541,000</td> <td>145,000</td> <td>0</td> <td>725,489,097</td> </tr> </tbody> </table>				年度	積立額		取崩額	年度末残高	新規	運用利子	R2	673,664,000	9,606	0	673,673,606	R3	0	7,548	0	673,681,154	R4	21,955,107	6,836	0	695,643,097	R5(見込)	12,806,000	354,000	0	708,803,097	R6(見込)	16,541,000	145,000	0	725,489,097
年度	積立額		取崩額		年度末残高																														
	新規	運用利子																																	
R2	673,664,000	9,606	0	673,673,606																															
R3	0	7,548	0	673,681,154																															
R4	21,955,107	6,836	0	695,643,097																															
R5(見込)	12,806,000	354,000	0	708,803,097																															
R6(見込)	16,541,000	145,000	0	725,489,097																															

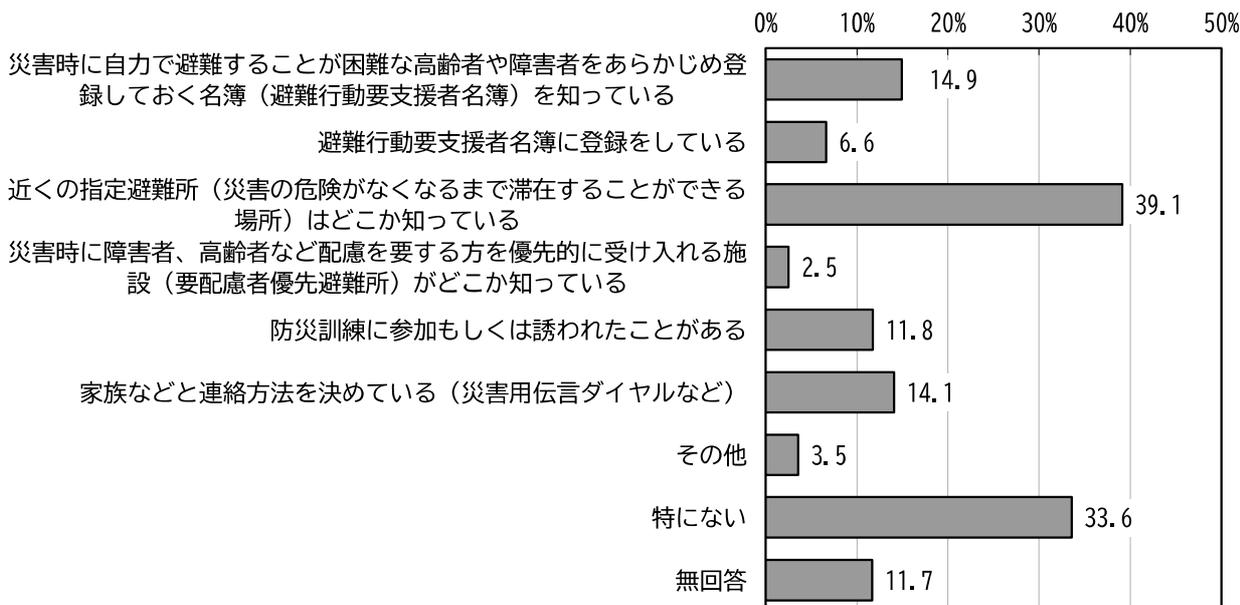
## 9. 災害時の対応について

(すべての方にお聞きします)

問36 災害が起こった時に備え、あなたが知っていることや経験したことはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

災害に備え知っていることや経験した事柄については、「近くの指定避難所（災害の危険がなくなるまで滞在することができる場所）はどこか知っている」が39.1%と最も多く、次いで「特にない」が33.6%、「災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者をあらかじめ登録しておく名簿（避難行動要支援者名簿）を知っている」が14.9%となっています。

### ■ 全体グラフ



■ 調査対象別クロス表

(上段：度数 下段：割合)

	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者をあつかうための登録しておく名簿(避難行動要支援者名簿)を	避難行動要支援者名簿に登録をしている	近隣の指定避難所(災害の危険がなくなるまで滞在することができている場所)	配慮を要する方を優先的に受け入れる施設(要配慮者優先避難所)がどこか知っている	災害時に障害者、高齢者など配慮を要する方を優先的に受け入れる施設(要配慮者優先避難所)がどこか知っている	防災訓練に参加もしくは誘われたことがある	(災害用伝言ダイヤルなど)連絡方法を決めている(家族などと)	その他	特にない	無回答	回答者数
全体	429 14.9%	190 6.6%	1,124 39.1%	72 2.5%	338 11.8%	405 14.1%	102 3.5%	965 33.6%	336 11.7%	2,874	
身体障害者	220 16.4%	85 6.3%	482 36.0%	31 2.3%	150 11.2%	184 13.7%	46 3.4%	452 33.7%	200 14.9%	1,340	
知的障害者	59 21.8%	48 17.7%	98 36.2%	17 6.3%	31 11.4%	37 13.7%	11 4.1%	72 26.6%	23 8.5%	271	
精神障害者	69 15.5%	21 4.7%	171 38.4%	7 1.6%	52 11.7%	53 11.9%	17 3.8%	160 36.0%	50 11.2%	445	
自立支援医療利用者	12 4.4%	4 1.5%	131 47.8%	1 0.4%	24 8.8%	43 15.7%	5 1.8%	106 38.7%	16 5.8%	274	
精神科病院入院患者	1 2.0%	2 4.0%	8 16.0%	0 0.0%	6 12.0%	3 6.0%	1 2.0%	36 72.0%	2 4.0%	50	
発達障害者	8 12.3%	6 9.2%	29 44.6%	4 6.2%	9 13.8%	7 10.8%	7 10.8%	17 26.2%	6 9.2%	65	
難病患者	54 14.4%	22 5.9%	183 48.8%	11 2.9%	58 15.5%	69 18.4%	15 4.0%	102 27.2%	34 9.1%	375	
小児慢性患者	6 11.1%	2 3.7%	22 40.7%	1 1.9%	8 14.8%	9 16.7%	0 0.0%	20 37.0%	5 9.3%	54	

■ 各種障害別クロス表

高次脳機能障害	14 14.3%	8 8.2%	34 34.7%	3 3.1%	8 8.2%	7 7.1%	6 6.1%	31 31.6%	18 18.4%	98
医療的ケア	73 21.1%	33 9.5%	128 37.0%	10 2.9%	26 7.5%	42 12.1%	18 5.2%	106 30.6%	48 13.9%	346
内 18歳未満	11 31.4%	4 11.4%	12 34.3%	2 5.7%	2 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	12 34.3%	5 14.3%	35
発達障害	50 14.3%	39 11.2%	137 39.3%	15 4.3%	40 11.5%	51 14.6%	21 6.0%	105 30.1%	27 7.7%	349
内 療育手帳あり	37 19.1%	32 16.5%	68 35.1%	13 6.7%	21 10.8%	22 11.3%	14 7.2%	50 25.8%	19 9.8%	194
内 療育手帳なし	10 7.9%	3 2.4%	57 44.9%	1 0.8%	16 12.6%	25 19.7%	7 5.5%	47 37.0%	5 3.9%	127

■ 障害部位別クロス表(身体障害・重複あり)

目が不自由(視覚障害)	21 16.5%	11 8.7%	45 35.4%	1 0.8%	14 11.0%	18 14.2%	5 3.9%	36 28.3%	21 16.5%	127
耳が不自由(聴覚・平衡機能障害)	23 16.0%	12 8.3%	49 34.0%	7 4.9%	19 13.2%	24 16.7%	8 5.6%	40 27.8%	22 15.3%	144
言葉が不自由(言語障害など)	19 22.9%	14 16.9%	26 31.3%	4 4.8%	4 4.8%	3 3.6%	5 6.0%	24 28.9%	14 16.9%	83
全身性障害(肢体不自由)	34 27.4%	21 16.9%	31 25.0%	10 8.1%	7 5.6%	8 6.5%	6 4.8%	40 32.3%	24 19.4%	124
半身まひ(肢体不自由)	21 19.6%	15 14.0%	37 34.6%	4 3.7%	5 4.7%	12 11.2%	3 2.8%	35 32.7%	15 14.0%	107
上肢障害(肢体不自由)	32 21.1%	13 8.6%	53 34.9%	4 2.6%	10 6.6%	20 13.2%	8 5.3%	44 28.9%	23 15.1%	152
下肢障害(肢体不自由)	69 16.2%	33 7.7%	153 35.8%	8 1.9%	41 9.6%	48 11.2%	20 4.7%	148 34.7%	60 14.1%	427
心臓やじん臓、呼吸器など(内部障害)	107 20.7%	42 8.1%	211 40.9%	13 2.5%	75 14.5%	87 16.9%	13 2.5%	178 34.5%	56 10.9%	516

■ 年齢別クロス表(全体は年齢無回答含む)

全体	429 14.9%	190 6.6%	1,124 39.1%	72 2.5%	338 11.8%	405 14.1%	102 3.5%	965 33.6%	336 11.7%	2,874
17歳以下	42 20.5%	28 13.7%	87 42.4%	12 5.9%	21 10.2%	21 10.2%	5 2.4%	59 28.8%	19 9.3%	205
18~39歳	52 13.2%	28 7.1%	172 43.5%	13 3.3%	42 10.6%	54 13.7%	15 3.8%	133 33.7%	19 4.8%	395
40~64歳	128 15.1%	48 5.7%	332 39.2%	19 2.2%	96 11.3%	135 15.9%	29 3.4%	318 37.5%	66 7.8%	847
65歳以上	181 14.1%	78 6.1%	478 37.2%	25 1.9%	165 12.8%	175 13.6%	50 3.9%	416 32.3%	208 16.2%	1,286

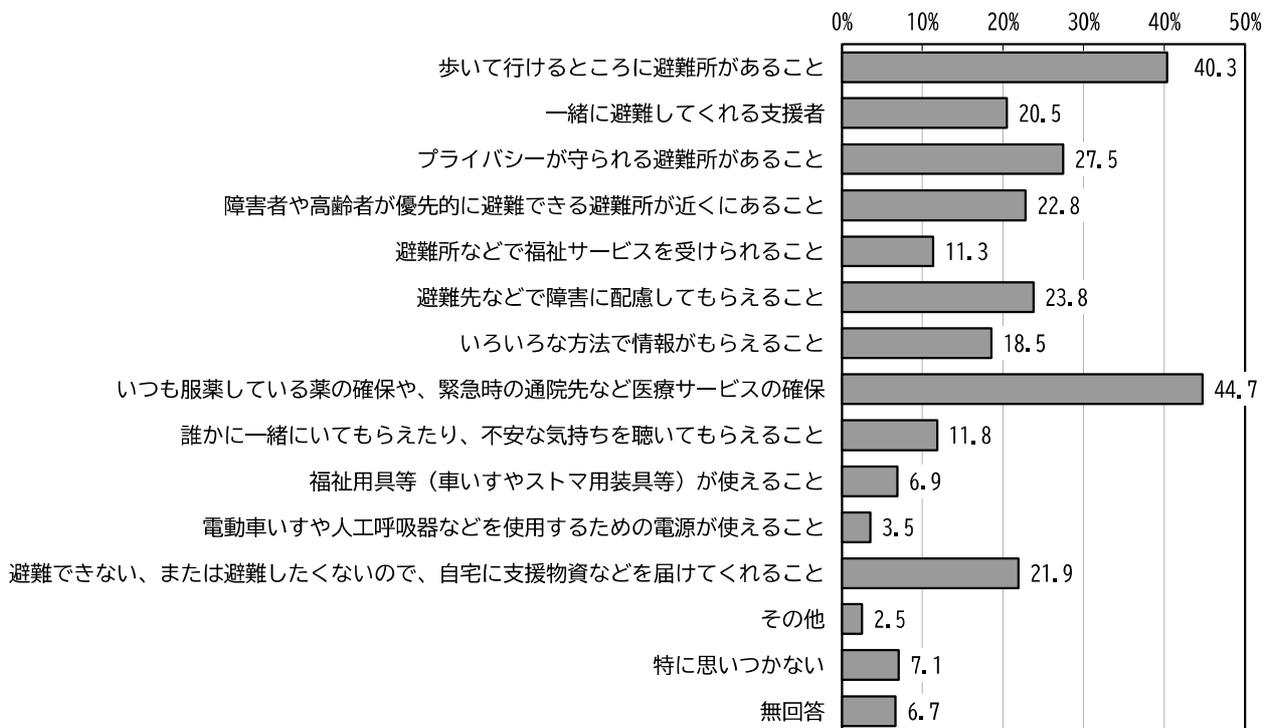
【その他の内容（一部抜粋）】

- 何も知りません（男性、50～59歳）
- ホームセキュリティ会社と契約済（男性、60～69歳）
- 施設から説明を受けていないので不安（男性、50～59歳）
- そのまま居るしかないと思っている。（女性、50～59歳）
- その時は死んでもいいと思う。逃げられない。運命を受け入れる。（女性、70～79歳）
- 災害(地震、水)の避難場所を考えている（男性、80～84歳）
- 耐震鉄骨構造3階建ての為困らない（女性、70～79歳）
- 災害が起こった時の説明を聞いたことがない（男性、70～79歳）
- 同居家族と行動を共にする（女性、85歳以上）
- 災害時の対応に関する情報が届かないのでわからない（女性、60～69歳）
- 特にどこかに避難しようと思っていません。自宅に居ます（病気のため）（女性、60～69歳）
- 知らない（男性、70～79歳）
- 水害時に自宅の車を非難できず水没してしまった（男性、50～59歳）
- 全て保護者がやっている（女性、18～29歳）
- 知らない（女性、80～84歳）
- 名簿（高齢者の障害者の登録している名簿がある事がしらない）（女性、80～84歳）
- はっきりした避難所がわからない（女性、70～79歳）
- 在住ホームのスタッフ（男性、80～84歳）
- 施設の指示に従う様になっている。（女性、85歳以上）
- なにもわからない（男性、80～84歳）
- ご近所の方に娘の携帯番号を教えてある。カーテンが開いてない時は娘に連絡して下さるようお願いしてある（女性、85歳以上）
- 自宅にいるのが一番安全と思っている。（女性、70～79歳）
- 家族にまかせている（女性、85歳以上）
- 災害時の避難訓練所等は一切分からない（不明、不明）
- 避難困難。避難行動要支援者名簿登録してあるのか？災害時優先施設要配慮者避難所知っているか？（女性、60～69歳）
- 全く知らない（女性、80～84歳）
- 西区高木ですが場所が遠くて歩いていけない（女性、80～84歳）
- 不明（男性、85歳以上）
- 連絡する近親者の名刺を持っている（女性、70～79歳）
- 市・民生委員からの説明がないのでわからない。（男性、80～84歳）
- 高齢でほとんど目が見えないので家族に任せている。（女性、85歳以上）
- 指定小学校へ行く（男性、70～79歳）
- 不安です（女性、80～84歳）
- 施設で対処してくれる（女性、85歳以上）

**問37 あなたは大きな災害があった時にどんな支援があったらいいと思いますか。(該当する番号3つまで○をつけてください。)**

災害の際に希望する支援については、「いつも服薬している薬の確保や、緊急時の通院先など医療サービスの確保」が44.7%と最も多く、次いで「歩いて行けるところに避難所があること」が40.3%、「プライバシーが守られる避難所があること」が27.5%となっています。

■ 全体グラフ



■ 調査対象別クロス表

(上段：度数 下段：割合)

	歩いて行けるところに避難所があること	一緒に避難してくれる支援者	プライバシーが守られる避難所があること	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所が近くにあること	避難所などで福祉サービスを受けられること	避難先などで障害に配慮してもらえること	いろいろな方法で情報がもらえること	いつも服薬している薬の確保や、緊急時の通院先など医療サービスの確保	誰かに一緒にいてもらえたり、不安な気持ちを聞いてもらえること	福祉用具等（車いすやストマ用具等）が使えること	電動車いすや人工呼吸器などを使用するための電源が使えること	避難できない、または避難したくないので、自宅に支援物資などを届けてくれること	その他	特に思いつかない	無回答	回答者数
全体	1,159 40.3%	588 20.5%	789 27.5%	655 22.8%	326 11.3%	683 23.8%	533 18.5%	1,286 44.7%	339 11.8%	198 6.9%	102 3.5%	630 21.9%	72 2.5%	203 7.1%	192 6.7%	2,874
身体障害者	572 42.7%	279 20.8%	281 21.0%	399 29.8%	155 11.6%	319 23.8%	221 16.5%	551 41.1%	81 6.0%	135 10.1%	36 2.7%	296 22.1%	38 2.8%	92 6.9%	95 7.1%	1,340
知的障害者	107 39.5%	95 35.1%	78 28.8%	82 30.3%	43 15.9%	120 44.3%	43 15.9%	69 25.5%	65 24.0%	12 4.4%	9 3.3%	76 28.0%	4 1.5%	15 5.5%	12 4.4%	271
精神障害者	166 37.3%	85 19.1%	154 34.6%	57 12.8%	47 10.6%	99 22.2%	89 20.0%	225 50.6%	95 21.3%	11 2.5%	9 2.0%	77 17.3%	9 2.0%	43 9.7%	41 9.2%	445
自立支援医療利用者	114 41.6%	27 9.9%	115 42.0%	21 7.7%	18 6.6%	27 9.9%	71 25.9%	159 58.0%	46 16.8%	12 4.4%	8 2.9%	62 22.6%	7 2.6%	19 6.9%	13 4.7%	274
精神科病院入院患者	26 52.0%	13 26.0%	10 20.0%	4 8.0%	10 20.0%	8 16.0%	10 20.0%	25 50.0%	11 22.0%	1 2.0%	1 2.0%	7 14.0%	1 2.0%	9 18.0%	2 4.0%	50
発達障害者	15 23.1%	18 27.7%	21 32.3%	15 23.1%	13 20.0%	32 49.2%	11 16.9%	13 20.0%	13 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 35.4%	2 3.1%	5 7.7%	5 7.7%	65
難病患者	137 36.5%	61 16.3%	116 30.9%	66 17.6%	36 9.6%	61 16.3%	80 21.3%	214 57.1%	21 5.6%	26 6.9%	28 7.5%	84 22.4%	9 2.4%	17 4.5%	23 6.1%	375
小児慢性患者	22 40.7%	10 18.5%	14 25.9%	11 20.4%	4 7.4%	17 31.5%	8 14.8%	30 55.6%	7 13.0%	1 1.9%	11 20.4%	5 9.3%	2 3.7%	3 5.6%	1 1.9%	54

■ 各種障害別クロス表

高次脳機能障害	24 24.5%	24 24.5%	15 15.3%	35 35.7%	13 13.3%	28 28.6%	16 16.3%	38 38.8%	8 8.2%	12 12.2%	2 2.0%	17 17.3%	2 2.0%	9 9.2%	13 13.3%	98
医療的ケア	107 30.9%	93 26.9%	73 21.1%	115 33.2%	50 14.5%	101 29.2%	44 12.7%	169 48.8%	34 9.8%	51 14.7%	51 14.7%	85 24.6%	9 2.6%	20 5.8%	25 7.2%	346
内 18歳未満	8 22.9%	9 25.7%	6 17.1%	13 37.1%	4 11.4%	16 45.7%	1 2.9%	21 60.0%	1 2.9%	4 11.4%	18 51.4%	9 25.7%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	35
発達障害	123 35.2%	93 26.6%	128 36.7%	87 24.9%	53 15.2%	150 43.0%	60 17.2%	132 37.8%	86 24.6%	10 2.9%	9 2.6%	95 27.2%	11 3.2%	28 8.0%	3 0.9%	349
内 療育手帳あり	64 33.0%	67 34.5%	60 30.9%	67 34.5%	40 20.6%	109 56.2%	23 11.9%	57 29.4%	44 22.7%	7 3.6%	5 2.6%	57 29.4%	4 2.1%	13 6.7%	2 1.0%	194
内 療育手帳なし	44 34.6%	17 13.4%	58 45.7%	14 11.0%	9 7.1%	32 25.2%	27 21.3%	59 46.5%	30 23.6%	2 1.6%	2 1.6%	33 26.0%	5 3.9%	12 9.4%	1 0.8%	127

■ 障害部位別クロス表 (身体障害・重複あり)

(上段：度数 下段：割合)

	歩いて行けるところに避難所があること	一緒に避難してくれる支援者	プライバシーが守られる避難所があること	障害者や高齢者が優先的に避難できる避難所が近くにあること	避難所などで福祉サービスを受けられること	避難先などで障害に配慮してもらえること	いろいろな方法で情報がもらえること	いつも服薬している薬の確保や、緊急時の通院先など医療サービスの確保	誰かに一緒にいてもらえたり、不安な気持ちを聞いてもらえること	福祉用具等(車いすやストマ用具等)が使えること	電動車いすや人工呼吸器などを使用するための電源が使えること	避難できない、または避難したくないので、自宅に支援物資などを届けてくれること	その他	特に思いつかない	無回答	回答者数
目が不自由 (視覚障害)	56 44.1%	49 38.6%	20 15.7%	39 30.7%	16 12.6%	34 26.8%	17 13.4%	42 33.1%	10 7.9%	7 5.5%	1 0.8%	30 23.6%	1 0.8%	10 7.9%	8 6.3%	127
耳が不自由 (聴覚・平衡機能障害)	58 40.3%	30 20.8%	23 16.0%	37 25.7%	20 13.9%	43 29.9%	40 27.8%	40 27.8%	12 8.3%	9 6.3%	4 2.8%	31 21.5%	10 6.9%	9 6.3%	12 8.3%	144
言葉が不自由 (言語障害など)	21 25.3%	17 20.5%	18 21.7%	28 33.7%	15 18.1%	30 36.1%	8 9.6%	38 45.8%	7 8.4%	14 16.9%	8 9.6%	24 28.9%	5 6.0%	4 4.8%	5 6.0%	83
全身性障害 (肢体不自由)	17 13.7%	33 26.6%	21 16.9%	55 44.4%	27 21.8%	46 37.1%	10 8.1%	52 41.9%	9 7.3%	22 17.7%	27 21.8%	43 34.7%	6 4.8%	3 2.4%	8 6.5%	124
半身まひ (肢体不自由)	29 27.1%	27 25.2%	23 21.5%	29 27.1%	19 17.8%	29 27.1%	9 8.4%	38 35.5%	4 3.7%	17 15.9%	3 2.8%	31 29.0%	3 2.8%	9 8.4%	7 6.5%	107
上肢障害 (肢体不自由)	62 40.8%	33 21.7%	36 23.7%	48 31.6%	19 12.5%	46 30.3%	26 17.1%	69 45.4%	9 5.9%	17 11.2%	10 6.6%	32 21.1%	4 2.6%	10 6.6%	9 5.9%	152
下肢障害 (肢体不自由)	184 43.1%	93 21.8%	82 19.2%	143 33.5%	55 12.9%	125 29.3%	66 15.5%	165 38.6%	27 6.3%	48 11.2%	18 4.2%	113 26.5%	16 3.7%	27 6.3%	27 6.3%	427
心臓やじん臓、呼吸器など (内部障害)	228 44.2%	96 18.6%	115 22.3%	163 31.6%	52 10.1%	103 20.0%	79 15.3%	287 55.6%	32 6.2%	57 11.0%	31 6.0%	106 20.5%	11 2.1%	38 7.4%	23 4.5%	516

■ 年齢別クロス表 (全体は年齢無回答含む)

	1,159	588	789	655	326	683	533	1,286	339	198	102	630	72	203	192	2,874
全体	40.3%	20.5%	27.5%	22.8%	11.3%	23.8%	18.5%	44.7%	11.8%	6.9%	3.5%	21.9%	2.5%	7.1%	6.7%	
17歳以下	67 32.7%	55 26.8%	66 32.2%	58 28.3%	27 13.2%	102 49.8%	33 16.1%	77 37.6%	39 19.0%	8 3.9%	21 10.2%	53 25.9%	5 2.4%	9 4.4%	11 5.4%	205
18～39歳	138 34.9%	88 22.3%	128 32.4%	57 14.4%	49 12.4%	116 29.4%	87 22.0%	174 44.1%	11 22.8%	11 2.8%	12 3.0%	80 20.3%	11 2.8%	27 6.8%	15 3.8%	395
40～64歳	332 39.2%	134 15.8%	303 35.8%	148 17.5%	93 11.0%	203 24.0%	159 18.8%	428 50.5%	107 12.6%	44 5.2%	26 3.1%	181 21.4%	25 3.0%	70 8.3%	47 5.5%	847
65歳以上	564 43.9%	279 21.7%	247 19.2%	373 29.0%	145 11.3%	235 18.3%	215 16.7%	558 43.4%	81 6.3%	128 10.0%	38 3.0%	293 22.8%	25 1.9%	90 7.0%	99 7.7%	1,286

【その他の内容（一部抜粋）】

- 歩道上の自転車乗り入れを取り締まってほしい。（不明、不明）
- 犬がいます。どうにかなりますか。（女性、50～59歳）
- 片麻痺の上、肺気腫なのであまり歩けません（男性、50～59歳）
- 手話通訳や文字による情報保障を利用できること。（答えない、不明）
- 子供の介護（男性、85歳以上）
- 支援はいらない。家の中にいる。運命にまかせる。（女性、70～79歳）
- 本当は今お世話になっている所が一番で安心しています。ここが避難所みたいです。（女性、85歳以上）
- 食料等保管してあり特に困らない（女性、70～79歳）
- ペースト状の食事など通常の形態でない食事の提供（女性、18～29歳）
- 動得ない為施設内に留まるしかない（男性、70～79歳）
- もし避難するならもっと近い場所がいい（女性、60～69歳）
- 3つでは無理です5つにして下さい（男性、60～69歳）
- にげることができない。じっとしている。（女性、85歳以上）
- 避難所に床に座れないのでベッド（ダンボール）や高い椅子がある事が条件。（女性、80～84歳）
- 障害者用トイレが避難所にあること。（女性、50～59歳）
- 医療機関、主治医と連絡がとれるようにする為のサポート（仕組みづくり）お薬手帳のDB化（女性、50～59歳）
- 日中は一人でいることが多いので不安（女性、85歳以上）
- 施設で誘導など支持してくれるので安心だと思う。（女性、85歳以上）
- 補聴器の電池なども支援して欲しい（女性、40～49歳）
- 聴覚障害者に対応した支援があると助かります。聴覚障害者に対応した配慮が少なく、見た目では障害者とわかりにくいので困る事が多いです。（男性、50～59歳）
- ペットも同行OKの避難所（女性、40～49歳）
- 非常電源バッテリーの配布（男性、60～69歳）
- 電動車イスが必要です（女性、85歳以上）
- 別になし（男性、70～79歳）
- 人工透析ができる施設（男性、50～59歳）
- 家がしっかりしている事、水害の心配もない事。家に居る事が一番安全である。（女性、80～84歳）
- 3つに絞れません（男性、60～69歳）
- 感音、難聴なのでメールを使用（女性、80～84歳）
- ペット避難所、ペット可（女性、50～59歳）
- 歩行困難の為自宅に居た方が良くと思います（女性、85歳以上）
- 人工内耳のための電源の確保（男性、15～17歳）
- 酸素濃縮装置、圧縮酸素供給装置（男性、70～79歳）
- 入院中なので確認できない！（女性、85歳以上）



報道機関 各位

記者発表資料  
令和4年10月28日(金)  
問い合わせ先：障害支援課  
課長：西淵  
担当：金澤、岡戸  
電話：829-1308  
内線：3065

さいたま市重度障害児者日常生活用具給付等事業の品目を追加します

さいたま市重度障害児者日常生活用具給付等事業の品目に、令和4年11月から新たに人工呼吸器用蓄電型電源装置を追加します。

1 目的

人工呼吸器を使用する障害者等に対し、停電時等でも安心して日常生活を送るために必要な人工呼吸器用蓄電型電源装置の購入に係る費用を助成します。

2 追加品目

人工呼吸器用蓄電型電源装置

3 対象者

以下のいずれかに該当する方

- ・呼吸器機能障害若しくは心臓機能障害の1級・3級又は同程度の障害を有する障害児者であって、人工呼吸器を装着している方
- ・難病患者等で人工呼吸器を使用している方

4 基準額

65,000円

※ 基準額の範囲内で原則1割を負担し、残り9割を公費で支給します。